

お申込みの流れ

1. お申込み

下記QRコードまたはURLより申込みフォームにアクセスし、お申込みください。



<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/information/34205.php>

2. 「申込み受付メール」が自動返信で届きます

お申込み内容をご確認ください。

※この時点ではまだ申込み確定ではございません。

3. 「申込み確定メール」が届きます

「申込み確定メール」をもって受付完了といたします。

お申込みから5日経っても受付完了メールが届かない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

社会連携部事業課
shakaijin2@tokyo-ondai.ac.jp
☎ 03-6455-2769

4. 受講料のお支払い等のご案内

各講座の申込締切日以降に、受講料のお支払い、入構方法等をメールにてご案内いたします。

注意事項

- ・申込者数が最低開講人数に達しなかった講座は開講いたしません。その場合は講座申込締切日以降にメールにてご連絡いたします。
- ・講座の内容や開催日時は都合により変更となる場合があります。
- ・受講料お振込後の変更やキャンセルによる返金は致しかねます。
- ・講座によって申込締切日が異なりますのでご注意ください。

講座開催場所

東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス
〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1

JR 「恵比寿駅」より徒歩 14分
東急東横線「中目黒駅」「代官山駅」より徒歩 5分



TUM

2024年度 東京音楽大学
春学期 社会人向け 公開講座

東京音楽大学 社会人の 学びの場

受講料

各講座 全3回 9,900円 (税込み)

定員35名 (先着順)
最低開講人数10名

音楽大学でより本格的に“学びたい・学び直したい”
社会人の方々を対象に、中目黒・代官山キャンパスにて
“社会人の学びの場”を開講しています。

開講講座

- 分析によって得られる解釈からより深い表現へ！
～平均律クラヴィア曲集で学ぶバッハのフーガ～
- 名曲を通して学ぶソルフェージュ
- 吹奏楽の現場で役立つ編曲法
- 古楽四方山話再び
- 西洋音楽の流れを辿る
- ～誰でも知ってるドレミファソ～
もっと深く味わってみませんか？

分析によって得られる解釈からより深い表現へ！ ～平均律クラヴィア曲集で学ぶバッハのフーガ～

5月13日・5月20日・5月27日
月曜 18:30～20:00

中目黒・代官山キャンパス
C400 教室

申込締切：4月23日(火)

フーガはソナタ形式などの様に一定の型があると考えている方が多いように思いますが、「単一主題による模倣を原理とした対位法的書法による作品」がフーガの定義と言えます。つまり冒頭の提示以外は一定のひな形がある訳ではなく、作曲家は自らが生み出した主題の持つ天性を見極め、フーガに育て上げて行くものなので1曲、1曲がそれぞれ異なる個性に溢れているのです。今回は旧約聖書に例えられるバッハのフーガを分析し、その魅力に迫ります。受講者は各自、平均律クラヴィア曲集 第1巻の楽譜を用意してください。



照屋 正樹 先生

東京藝術大学音楽学部及び同大学院音楽研究科卒業
現在、東京藝術大学名誉教授、東京音楽大学非常勤講師
主要著書：「楽典～音楽の基礎から和声へ」(アルテスパブリッシング刊、共著)
「フォルマシオン・ミュージカル教育法によるティーチングプラン」(東京藝術大学出版会刊)

名曲を通して学ぶソルフェージュ

6月4日・6月11日・6月18日
火曜 18:30～20:00

中目黒・代官山キャンパス
C300 教室

申込締切：5月15日(水)

古今の名曲は、全て「楽譜」という形で書き残され、後世の私たちに伝えられています。楽譜には旋律・和音・リズムといった音楽の要素が詰まっています。録音という手段を持たなかった時代の作曲家たちが、何とかして自分の思い浮かべた音楽を人に伝えようとして書き記した楽譜から、その音楽を読み取り、受け取る技術が読み手には必要となります。その技術を「ソルフェージュ」と呼びます。いろいろな時代の名曲を題材として、音読したり歌ったりしながら、作曲家たちが私たちに残してくれた音楽をよりヴィヴィッドに味わいましょう。

※受講にあたっては各自、『新・名曲視唱曲集』(音楽之友社)をご用意ください。



荒尾 岳児 先生

東京大学文学部卒業、東京藝術大学大学院修士課程作曲専攻修了。声楽・器楽のアンサンブルピアニストとして多くの公演に参加しつつ、ソルフェージュの指導にあたっている。現在東京音楽大学准教授、東京藝術大学非常勤講師。日本ソルフェージュ研究協議会理事。
共著：『リズム・スタディ』『クレ・スタディ』(全音楽譜出版社)『新・名曲視唱曲集』(音楽之友社)他
CD：「和谷泰扶ハーモニカトリオ/マタドール」「同/曼珠沙華幻想」(ピアノ・編曲)(ナミ・レコード)他

吹奏楽の現場で役立つ編曲法

6月7日・6月21日・7月5日
金曜 19:00～20:30

中目黒・代官山キャンパス
C300 教室

申込締切：5月20日(月)

少子化や、学校の部活動の地域移行などの影響で、アマチュア吹奏楽の現場の編成は多様になっています。少人数で指定パートが揃わない、特定の楽器に人数が偏っている、メンバーの楽器の習熟度にバラつきがある、などの理由で既存の楽譜を使っの演奏が難しい、というケースは多いでしょう。そこで有効になるのが、自分たちのバンドに適した形に楽曲を編曲するスキルです。各回の内容は「奏者の習熟度別での楽器運用法」、「既存の楽曲と編成が合わない場合」、「フレックス楽譜の活用法」を予定しています。これらを通して編曲のスキルを身につけると同時に、吹奏楽自体についての見識を深めていただくことも狙いとしています。



中橋 愛生 先生

東京音楽大学作曲指揮専攻および同大学院を首席で修了。2002年、第71回日本音楽コンクール作曲部門(管弦楽作品)第三位。2007年度、第18回日本管打・吹奏楽学会アカデミー賞(作編曲部門)。2009年および2010年、日本吹奏楽指導者協会「下谷奨励賞」。作品は東京佼成ウインドオーケストラ、シエナ・ウインド・オーケストラ、陸上自衛隊中央音楽隊などによって初演されている。現在、東京音楽大学教授、国立音楽大学・日本大学芸術学部各講師、日本バンドクリニック委員会委員、日本管打・吹奏楽学会理事、21世紀の吹奏楽“饗宴”実行委員、日本管楽芸術学会正会員。2008年4月よりNHK-FM「吹奏楽のひびき」パーソナリティも務めている。

古楽四方山話再び

6月10日・6月17日・6月24日
月曜 18:30～20:00

中目黒・代官山キャンパス
C400 教室

申込締切：5月21日(火)

社会に根付いてきた感のある『古楽』という言葉は何を指すのか、「それ以外」とはどう違うのか、『古楽』を実践するときの問題・課題はなにか、聴くときには何か特別な知識や理解が必要なのか等々、おそらく一般的と思われる疑問を共有し、また楽譜・資料や録音なども交えて、音楽全般が今後『どこへ行くのか』と考え巡らす時間。



鈴木 秀美 先生

チェロ、指揮、執筆、録音ディレクター、教育と活動は多岐にわたり、サントリー音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞ほか多数を受賞。OLCの他国内外の楽団に指揮者及びソリストとして客演。神戸市室内管弦楽団音楽監督。山形交響楽団首席客演指揮者。日本ベーターヴェンクライス副代表理事。録音は多数に上る。著書に「『古楽器』よ、さらば!」、「ガット・カフェ」、「無伴奏チェロ組曲」、「通奏低音弾きの言葉では」。東京音楽大学チェロ科客員教授、東京藝術大学古楽科講師。

西洋音楽の流れを辿る

6月20日・6月27日・7月4日
木曜 19:00～20:30

中目黒・代官山キャンパス
C305 教室

申込締切：5月31日(金)

クラシック音楽の流れを中世から近代まで概観します。中世の単旋律の世界から出発し、ルネサンス時代に合唱全盛となり、続くバロック時代に楽器の発達と共に器楽曲が開花していきました。その後は古典派、ロマン派、近代と続きます。ご自分のお気に入りの音楽がどの時代のもので、その時代背景はどのようなものであったのか、と一緒に展望してみませんか。



坂崎 則子 先生

東京藝術大学楽理科、同大学院音楽研究科修了。現在、東京音楽大学教授、付属図書館長。ルネサンス・バロックのリュート音楽研究。本学学部、大学院では西洋音楽史、オペラ史、文献研究、学生の論文指導などを担当。

～誰でも知ってるドレミファソ～ もっと深く味わってみませんか？

7月2日・7月9日・7月16日
火曜 19:00～20:30

中目黒・代官山キャンパス
C300 教室

申込締切：6月12日(水)

私たちは「ドレミファソ」と簡単に言えます。ところがフランス国では小・中・高の教育科目に「音楽」という単元が無いそう！もし担任が音楽に興味の無い先生だったら音楽教科に触れずに小中高を了してしまう事もありだとか…。幸い我が国では文科省により音楽教科は必修となっているので「ドレミファソ」の文盲率は0%では、と思います。けれど、そのドレミファソが幸せな形で体験できて来たかという、それには大分？が灯ります。その「ドレミファソ」をしみじみ、愛おしんで心の底から味わってみよう、というのがこの講座です。皆様と、うんと楽しく歌ってみたいですよ！

※使用テキストは初回時に販売予定です。



高橋 千佳子 先生

東京藝術大学作曲科卒業。同大学院ソルフェージュ科修了。作曲を池内友次郎、矢代秋雄、永富正之、間宮芳生、松村禎三の諸氏に、ピアノを谷康子女史に、また伴奏法をアンリエット・ピュイグ＝ロジェ女史に師事。国立音楽大学、東京藝術大学及び同附属高校、日本大学芸術学部、東京音楽大学の講師を経て、現在、東京音楽大学附属高校講師。成城ソルフェージュ研究協会代表、日本ソルフェージュ研究協議会理事。また、1977年よりCM作曲に携わり、ヒット作は明石家さんまのキョクマン・ぼんしょうゆ「しあわせって何だっけ?」。著書に『音を感じる視唱入門―先生のピアノで歌おう』『言葉で味わうリズム唱入門』(音楽之友社)、『たのしいリズムパーティー 1、2巻』『ぷっぷるのリズムカード』『いちばんやさしい3歳からのソルフェージュ、5歳からのソルフェージュ』など。